

臍ヘルニアは、一般的に「でべそ」とよばれるものです。本来、人間はおへその中に小さな穴があります。もともとお母さんにつながっていた臍帯（へその緒）が通っていた部分ですが、生まれた後に縮んで小さくなることで膨らまない、へこんだおへそになります。この、縮む過程が遅れてしまうことでお腹に力が入ったときに膨らむようになります。

当院では積極的に圧迫療法を乳児期に行っていますが、1歳以降で症状が続くようであれば手術を行うことがあります。

ほとんどの患者さんにとって、臍ヘルニアは整容性（見た目）が一番の問題になります。手術時期も含めてご相談させていただきます。